



## 2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月17日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6531 URL http://www.r-inverse.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 北垣 栄一 TEL 03 (5643) 7890  
 定時株主総会開催予定日 2020年9月25日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	2,694	6.7	△178	—	△208	—	△268	—
2019年6月期	2,526	4.7	△255	—	△289	—	△343	—

（注）包括利益 2020年6月期 △268百万円（-%） 2019年6月期 △343百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	△88.18	—	△58.2	△7.0	△6.6
2019年6月期	△113.96	—	△57.6	△9.3	△10.1

（参考）持分法投資損益 2020年6月期 ー百万円 2019年6月期 ー百万円

（注）当連結会計年度においては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を記載していません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	2,872	337	11.4	107.42
2019年6月期	3,113	604	19.2	195.62

（参考）自己資本 2020年6月期 327百万円 2019年6月期 596百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	71	△147	131	414
2019年6月期	△58	△160	90	358

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,989	11.0	102	—	61	—	20	—	6.62

（注）1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年6月30日現在の発行株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年6月期	3,049,950株	2019年6月期	3,049,950株
2020年6月期	129株	2019年6月期	100株
2020年6月期	3,049,826株	2019年6月期	3,016,439株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	1,053	35.6	△441	—	△369	—	△379	—
2019年6月期	776	0.9	△363	—	94	△59.5	△115	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	△124.43	—
2019年6月期	△38.44	—

(注) 当連結会計年度においては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	2,347	150	6.0	46.19
2019年6月期	2,481	528	21.0	170.64

(参考) 自己資本 2020年6月期 140百万円 2019年6月期 522百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、アナリスト向け説明会の実開催は行わず、説明会動画を決算補足説明資料とともに当社ウェブサイトに掲載する予定です。掲載の時期につきましては改めて当社ウェブサイトでお知らせいたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において当社グループは、産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。

また、更なる事業領域の拡大に向けて積極的に研究開発投資を継続するとともに、グループ各事業の収益管理及びコーポレート機能強化を目的として当連結会計年度より導入した事業部制が機能した結果、各事業部の業績向上に貢献しております。とくに、ソリューション事業では第2四半期に大型プラント販売の実績を上げ、新たな収益源となっており、当連結会計年度の売上高は過去最高額となりました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの経営成績に与える影響は大きく、既存事業で徹底したコスト削減を進めたものの、その効果が出るのは翌期以降となる見込みであり、第4四半期において売上が大きく落ち込んだ結果、最終損益は赤字となりました。

再生樹脂製造販売事業においては、緊急事態宣言に伴う外出自粛により、建設業界全般として現場作業員の安全面から工事の中止・延期が発生し、ホテルやオフィス等のリニューアル工事で発生する廃タイルカーペットの受入処理量が第4四半期において減少いたしました。また、当社のリサイクル材料の大部分はタイルカーペットをはじめとする床材製品の原料となりますが、新型コロナウイルスの影響を受けたホテルやその他施設への投資が減少し、これら床材製品の需要が落ち込み、リサイクル材料の販売量が減少いたしました。

産業廃棄物処理事業においては、住宅の建設・リノベーション業界において中国からの住設部材の調達に滞り、また緊急事態宣言に伴う建設工事の中止・延期が発生し、当社グループの受注した産廃回収予定の工事が中止・延期となる案件が発生しました。さらに、顧客訪問を伴う営業活動の停滞により、新規受注が減少いたしました。

この結果、当連結会計年度における業績につきましては、売上高2,694,690千円（前年同期比6.7%増）、営業損失178,586千円（前年同期は営業損失255,357千円）、経常損失208,217千円（前年同期は経常損失289,961千円）、親会社株主に帰属する当期純損失268,937千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失343,754千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、記載のセグメント別売上高はセグメント間取引の相殺前の数値です。

#### (再生樹脂製造販売事業)

再生樹脂製造販売事業につきましては、ホテル・オフィス関連を中心としたリニューアル需要は底堅く、企業の持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みの高まりなどから、弊社へのカーペットタイルの処理委託並びに環境対応製品の基礎原料としての再生樹脂原料の需要は底堅く推移してまいりましたが、第4四半期における新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、需要の落ち込みが顕著となっております。高機能樹脂事業においては、下期には工場の生産性は改善し、安定的に生産量を増加させる態勢が整いましたが、新型コロナウイルスの影響により、商談のための訪問や当社への工場視察が延期されるなど、ビジネスチャンスを実現するための活動が思うようにいかず販売数量を伸ばすことができませんでした。一方で、前期より準備を進めていたソリューション事業は大型案件となる機械設備販売を実現し、売上高の増加に貢献しております。

その結果、売上高は1,041,792千円(前年同期比35.8%増)となり、セグメント損失は197,765千円(前年同期はセグメント損失261,700千円)となりました。

#### (産業廃棄物処理事業)

産業廃棄物処理事業につきましては、マンション等のリフォーム・リノベーション案件において、解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスにより多くの引き合いを頂き、業績を伸ばしてまいりましたが、第4四半期における新型コロナウイルスの影響による売上の落ち込みは大きく、売上高は前年割れとなりました。一方、新基幹システム導入とその機能向上を図ることにより現場から管理部門までの伝票処理等のデジタル化によるオペレーションの効率化、管理コストの削減などを実現することができ、セグメント利益率は大幅にアップいたしました。

結果として売上高は1,666,771千円(前年同期比5.9%減)、セグメント利益は214,464千円(前年同期比21.1%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は955,457千円となり、前年度末と比べ155,219千円減少しております。これは主として現金及び預金が58,799千円増加、受取手形及び売掛金が70,373千円減少、商品及び製品が46,035千円減少、未収還付法人税等が81,772千円減少したことによるものです。

当連結会計年度末における固定資産は1,876,545千円となり、前年度末と比べ67,855千円減少しております。これは、主として有形固定資産が17,782千円減少、投資その他の資産が50,753千円減少したことによるものです。

当連結会計年度末における繰延資産は40,030千円となり、前年度末と比べ18,046千円減少しております。これは、開業費の償却18,046千円によるものです。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は694,373千円となり、前年度末と比べ149,513千円減少しております。これは、主として支払手形及び買掛金が138,072千円減少、短期借入金が75,001千円増加、未払金が59,805千円減少したことによるものです。

当連結会計年度末における固定負債の残高は1,840,438千円となり、前年度末と比べ175,866千円増加しております。これは、主として長期借入金が142,228千円増加したことによるものです。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は337,220千円となり、前年度末と比べ267,474千円減少しております。これは、主として利益剰余金が268,937千円減少したことによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、414,333千円（前連結会計年度比15.6%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は71,808千円（前連結会計年度支出された資金は58,800千円）となりました。これは、主として売上債権が70,503千円、たな卸資産が42,466千円、仕入債務が138,072それぞれ減少し、法人税等が81,772千円還付されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出された資金は147,406千円（前連結会計年度支出された資金は160,970千円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出143,239千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は131,395千円（前連結会計年度得られた資金は90,610千円）となりました。これは主に長期借入れによる収入500,000千円である一方、長期借入金の返済による支出371,992千円によるものであります。

（4）今後の見通し

当社グループを取り巻く環境としては、少子化に伴う労働人口の減少による人手不足、海外における通商問題の動向や米国の政策動向、またその影響等不確実性があり、引き続き注視すべき状況が続くものと考えられます。とくに、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は収束の見通しが立たず、その影響による経済活動の停滞も今後の回復状況が見通せない状況となっており、2021年に延期された東京オリンピックもその開催が実現するかどうかが予断を許さない中で、当社グループの事業領域に関わる市場においては、不動産・建築市場への影響が懸念されるところとなっております。

このような環境の中、昨今の廃プラ処理問題、海洋ゴミ問題への社会的な関心の高まりは当社グループにとっては追い風であり、これらの課題解決は当社グループの事業領域そのものであります。社会の課題をRefineすることで価値を生み出す、すなわち廃棄物のリサイクルという枠にとらわれることなく社会的な課題の解決によって価値を生む、低価値・マイナス価値のものをRefineすることで新たな価値を創り出すことに取り組んでいきたいと考えております。環境問題などの社会的課題は“ビジネスの力”によって解決することで持続可能となるという信念のもと、新しい資源を生み出すことで結果として社会貢献することを目指してまいります。

再生樹脂製造販売事業について既存事業の大きな課題は解決しており収益回復を見込んでいるものの、新型コロナウイルスによる影響は2021年6月期が終了するまでは継続するものと見込んで連結業績予想を算定しております。カーペットリサイクル事業では新型コロナウイルスの影響による需要減の状態が続くものと見込んでおります。高機能樹脂事業では工場の生産性が改善し、海洋ゴミ問題への関心が高まる中、漁網リサイクル製品に対する引き合いが急増しており、生産・販売数の増加を見込んでおります。当連結会計年度より開始したソリューション事業において廃プラ排出事業者に対してオンサイトで再資源化処理を行うプラント販売を見込んでおり複数案件で交渉進捗中です。

産業廃棄物処理事業については、新型コロナウイルスの影響による売上落ち込みから回復傾向にあり、リフォーム・リノベーション案件を中心に受注は増加してきております。売上高は通期ベースでは前期並みの見通しとなっておりますが、効率化、コスト削減による収益力はアップしており、利益は増加する見込みとなっております。

以上により、2021年6月期の連結業績の通期見通しは、売上高2,989,979千円、営業利益102,189千円、経常利益61,189千円、親会社株主に帰属する当期純利益20,189千円を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	401,970	460,770
受取手形及び売掛金	347,765	277,392
商品及び製品	195,807	149,771
仕掛品	10,733	2,057
原材料及び貯蔵品	29,520	41,766
前払費用	18,737	19,992
未収還付法人税等	81,772	—
その他	26,679	5,064
貸倒引当金	△2,309	△1,358
流動資産合計	1,110,676	955,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	913,030	946,810
機械装置及び運搬具	1,038,324	1,111,097
工具、器具及び備品	80,556	83,957
土地	102,100	102,100
リース資産	150,052	234,675
建設仮勘定	38,073	13,889
減価償却累計額	△677,719	△865,895
有形固定資産合計	1,644,417	1,626,635
無形固定資産		
14,272		14,952
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	162,873	116,597
敷金及び保証金	101,386	100,491
その他	13,005	9,293
貸倒引当金	△11,554	△11,424
投資その他の資産合計	285,710	234,957
固定資産合計	1,944,400	1,876,545
繰延資産		
開業費	58,077	40,030
繰延資産合計	58,077	40,030
資産合計	3,113,154	2,872,032

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,569	37,496
短期借入金	—	75,001
1年内返済予定の長期借入金	319,492	305,272
リース債務	34,425	42,820
未払金	180,872	121,066
未払費用	44,565	48,428
未払法人税等	6,368	9,269
未払消費税等	14,256	34,297
その他	68,335	20,721
流動負債合計	843,886	694,373
固定負債		
長期借入金	1,359,070	1,501,298
リース債務	67,061	117,987
繰延税金負債	26,616	24,252
資産除去債務	153,016	153,917
その他	58,807	42,983
固定負債合計	1,664,572	1,840,438
負債合計	2,508,459	2,534,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	439,219	439,219
資本剰余金	487,258	487,258
利益剰余金	△329,775	△598,713
自己株式	△96	△142
株主資本合計	596,605	327,621
新株予約権	8,089	9,598
純資産合計	604,695	337,220
負債純資産合計	3,113,154	2,872,032



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,526,299	2,694,690
売上原価	2,071,595	2,182,154
売上総利益	454,704	512,535
販売費及び一般管理費	710,062	691,122
営業利益又は営業損失(△)	△255,357	△178,586
営業外収益		
受取利息	405	106
受取配当金	9	8
物品売却益	1,022	—
作業くず売却益	668	—
補助金収入	500	—
助成金収入	—	9,802
受取保険金	—	2,091
その他	1,650	3,010
営業外収益合計	4,256	15,018
営業外費用		
支払利息	18,483	24,727
開業費償却	16,493	18,046
その他	3,882	1,874
営業外費用合計	38,860	44,649
経常損失(△)	△289,961	△208,217
特別利益		
固定資産売却益	2,543	—
新株予約権戻入益	—	208
特別利益合計	2,543	208
特別損失		
固定資産除却損	6,017	3,799
固定資産売却損	—	708
投資有価証券評価損	9,999	—
貸倒引当金繰入額	10,254	—
特別損失合計	26,272	4,507
税金等調整前当期純損失(△)	△313,691	△212,516
法人税、住民税及び事業税	3,424	12,508
法人税等調整額	26,639	43,912
法人税等合計	30,063	56,421
当期純利益又は当期純損失(△)	△343,754	△268,937
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△343,754	△268,937

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△343,754	△268,937
包括利益	△343,754	△268,937
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△343,754	△268,937
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	408,372	456,410	13,978	△96	878,665	3,645	882,310
当期変動額							
新株の発行	30,847	30,847			61,695		61,695
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△343,754		△343,754		△343,754
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						4,444	4,444
当期変動額合計	30,847	30,847	△343,754	—	△282,059	4,444	△277,614
当期末残高	439,219	487,258	△329,775	△96	596,605	8,089	604,695

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	439,219	487,258	△329,775	△96	596,605	8,089	604,695
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△268,937		△268,937		△268,937
自己株式の取得				△46	△46		△46
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,508	1,508
当期変動額合計	—	—	△268,937	△46	△268,983	1,508	△267,474
当期末残高	439,219	487,258	△598,713	△142	327,621	9,598	337,220

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）	当連結会計年度 （自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失（△）	△313,691	△212,516
減価償却費	176,411	205,821
貸倒引当金の増減額（△は減少）	11,717	△1,081
受取利息及び受取配当金	△414	△114
支払利息	18,483	24,727
投資有価証券評価損益（△は益）	9,999	—
固定資産除売却損益（△は益）	3,474	4,507
売上債権の増減額（△は増加）	△1,744	70,503
たな卸資産の増減額（△は増加）	△114,242	42,466
仕入債務の増減額（△は減少）	126,595	△138,072
未払金の増減額（△は減少）	△58,467	△16,321
未払消費税等の増減額（△は減少）	11,625	42,667
未収消費税等の増減額（△は増加）	33,153	24,338
その他	41,187	△22,175
小計	△55,910	24,749
利息及び配当金の受取額	414	114
利息の支払額	△17,416	△24,950
法人税等の支払額	△47,157	△9,877
法人税等の還付額	61,269	81,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,800	71,808
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△46,435	△49,436
定期預金の払戻による収入	55,434	46,435
有形固定資産の取得による支出	△168,249	△143,239
有形固定資産の売却による収入	7,156	2,459
無形固定資産の取得による支出	△4,474	△4,077
敷金及び保証金の差入による支出	△4,613	△299
敷金及び保証金の戻入による収入	210	752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,970	△147,406
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	75,001
長期借入れによる収入	400,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△338,682	△371,992
リース債務の返済による支出	△29,687	△54,423
株式の発行による収入	61,695	—
自己株式の取得による支出	—	△46
その他	△2,715	△17,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	90,610	131,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△129,160	55,798
現金及び現金同等物の期首残高	487,696	358,535
現金及び現金同等物の期末残高	358,535	414,333

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に会社又は事業部を置き、各会社又は事業部が取り扱うサービス・製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループでは、会社又は事業部を基礎としたサービス・製品別のセグメントから構成されており、「再生樹脂製造販売事業」及び「産業廃棄物処理事業」の2つを報告セグメントとしております。

「再生樹脂製造販売事業」は、首都圏を中心に製品の原料となる使用済みカーペットタイルの処分受託を行っており、また調達した使用済みカーペットタイルを切削又は、粉碎加工することにより生成された再生樹脂、自動車エアバッグの製造工程から出る端材や使用済み漁網を裁断、洗浄、熱可塑化して押出加工することにより生成された再生樹脂等を販売しております。「産業廃棄物処理事業」は、首都圏を中心に産業廃棄物の中間処理・再資源化事業及び収集運搬事業、オフィス・マンションの解体工事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

(単位：千円)

	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	758,509	1,767,790	2,526,299
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,366	3,714	12,081
計	766,875	1,771,504	2,538,380
セグメント利益又は損失(△)	△261,700	177,138	△84,562
セグメント資産	2,103,823	977,778	3,081,602
その他の項目			
減価償却費	134,249	41,954	176,204
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	248,828	89,948	338,776

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,031,655	1,663,034	2,694,690
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,136	3,737	13,873
計	1,041,792	1,666,771	2,708,563
セグメント利益又は損失（△）	△197,765	214,464	16,699
セグメント資産	2,026,277	1,307,664	3,333,942
その他の項目			
減価償却費	158,721	47,039	205,760
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	180,498	38,777	219,276

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,538,380	2,708,563
セグメント間取引消去	△12,081	△13,873
連結財務諸表の売上高	2,526,299	2,694,690

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△84,562	16,699
全社費用（注）	△232,501	△267,093
セグメント間消去	64,622	72,146
未実現利益の調整額	△2,916	△338
連結財務諸表の営業利益	△255,357	△178,586

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,081,602	3,333,942
セグメント間の債権の相殺消去	△200,764	△606,090
全社資産（注）	246,145	152,647
未実現利益の調整額	△13,828	△8,466
連結財務諸表の資産合計	3,113,154	2,872,032

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	176,204	205,760	—	—	207	60	176,411	205,821
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	338,776	219,276	—	—	△140	—	338,636	219,276

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額及び未実現利益の調整額であります。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	195円62銭	107円42銭
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	△113円96銭	△88円18銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 当連結会計年度においては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△343,754	△268,937
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△343,754	△268,937
普通株式の期中平均株式数(株)	3,016,439	3,049,826
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	604,695	337,220
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	8,089	9,598
(うち新株予約権(千円))	(8,089)	(9,598)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	596,605	327,621
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,049,850	3,049,821

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

該当事項はありません。